

第14回宇部・小野田圏域緩和ケア 事例検討会

切れ目のない緩和ケアを実施するために、地域の医療従事者が集い、多職種による事例検討を行います。

今回は抗がん剤治療を継続するか、療養場所をどうするか、患者さんとご家族の揺れ動く気持ちを支え、緩和ケア病棟へ転院された胃がん事例について検討します。患者さん、ご家族の希望実現に向けて考えていきたいと思えます。

日時：平成30年4月23日(月) 17:30～18:30 (17:00受付開始)

場所：山口大学医学部附属病院 新中央診療棟1階多目的室1

(別紙会場案内図をご参照ください)

※お車で越しの方は病院外来の駐車場をご利用ください。
駐車券は、無料パンチをいたしますので、会場までご持参ください。

参加費：無料 対象：医療関係者

17:30～18:30 (各演者10分、全体討議40分)

治療中止を決断し緩和ケア病棟へ転院された胃がん事例

山口大学医学部附属病院 第二外科 西山 光郎先生
山口赤十字病院 緩和ケア科 上田 宏隆先生



お問い合わせ先：山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター事務局
Tel：0836-85-3070 FAX：0836-85-3071
E-mail：y-kanwa@yamaguchi-u.ac.jp

共催：山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター(平成30年第1回緩和ケアセンターセミナー)
山口大学医学部附属病院腫瘍センター(第93回腫瘍センターセミナー)
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム(平成30年第1回がん治療スキルアップセミナー)